

最上位の目的

すべてはこどもの幸福のために

～自己肯定感の育成・向上～

学校教育目標

◎考える子 やさしい子 元気な子

目指す学校像

こどもが生き生きと活動する学校

関係性(つながり)

・自分も他者も大切にできる教育

有能感(できた)

・自分の成長を実感できる教育

自発性(自分から)

・自分の意見が尊重され、意思決定できる教育

自己存在感の感受

【有能感・関係性】

・学校生活のあらゆる場面で、「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感を、こどもが実感する。
・ありのままの自分を肯定的に捉える自己肯定感や、他者のために役立った、認められたという自己有用感を育む。

自己決定の場の提供

【主体性・有能感】

・こどもが自ら考え、選択し、決定する等の体験を重視する。
・こどもの自己決定の場を広げていくために、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めていく。

共感的な人間関係の育成

【関係性】

・学級経営において教員とこども、こども同士による生活集団を、認め合い、励まし合い、支え合える学習集団にしていく。
・自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる相互扶助的で共感的な人間関係を構築する。

安心・安全な風土の醸成

【関係性・主体性】

・他者の人格や人権をおとしめる言動、いじめ、暴力行為などは、決して許されるものではないため、お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活が送れるような風土を、教職員の支援の下で、こども自らがつくり上げるようにする。

確かな学力の育成

・「主体的・対話的で深い学び」「ICT教育の推進」等の推進
・交換授業、教科担任制によるきめ細やかな指導
・東京ベーシックドリル、デジタル教材の活用と図書館機能の充実

豊かな心の育成

・基本的生活習慣の定着
・あいさつ週間、あいさつ運動の充実
・道徳の授業改善および特別活動の充実

健やかな体の育成

・体育科の授業改善
・体力向上週間の実施
・食育・健康教育の推進

安全・安心な学校

・施設設備の日常、定期、臨時点検
・交通安全指導の徹底
・実践的な避難訓練等の実施

教育相談・特別支援教育の充実

・校内委員会の定期開催
・個別支援の充実
・特別支援教室との連携

家庭・地域との連携

・コミュニティスクール、PTA、青少対との連携強化
・小中、幼保小の連携強化
・HP等の活用による情報発信

二次小平市教育振興基本計画(令和5年度～令和14年度) 教育の目標

【自立】自分を認め、他者を認め、一人ひとりのこどもの良さや可能性を最大限に引き出す。

【共生】学校・家庭・地域がつながり、持続可能な教育環境をつくる。

【貢献】一生涯にわたって学び受け継がれる小平の教育の好循環をつくる。